

子ども虐待の発生要因とその対処プログラム ～メンタルヘルスと貧困を焦点に～

子ども虐待問題の主要な発生要因として指摘される、世帯の貧困と孤立、親のメンタルヘルス問題。これらは複合して世帯全体を追い詰め、虐待発生のリスクを高めるとされます。しかし、これらの要因に総合的に対応するシステムは未確立で、支援機関連携の体制確立やチームマネジメントの課題が指摘されています。子ども虐待対応機関の専門職をはじめ、この問題に関心のある方々と共に、子ども虐待の発生要因と支援連携について、講義と演習を通して考えます。

日 時 10月20日(土) 10:00～16:00 (昼休憩1時間を含みます。)

会 場 サテライトキャンパスひろしま (広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター内)

講 師 県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 松宮透高
教授 田中聡子

対 象 児童相談所、児童福祉施設、精神科医療機関などの専門職等

定 員 40名(先着順)

受講料 3,000円

申込締切 10月1日(月) 必着

申込方法 【QRコード】下記のQRコード又は本学ホームページのURL上「申込フォーム」に入力してください。申込締切日以降にメールで受講案内と振込案内を送付します。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=278>

【郵送】従来どおり郵送でのお申込みも可能です。
公開講座申込書をご記入いただき、返信用封筒※を同封のうえ、下記へ送付してください。
宛先は、公開講座「子ども虐待の発生要因とその対処プログラム」係。
※返信用封筒(長形3号:横120mm×縦235mm)に82円切手貼付。

主催
問合せ先 県立広島大学 三原地域連携センター
〒723-0053 三原市学園町1番1号
電話:0848-60-1200(平日9:00～17:00)
メール:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp



内 容	<p>① 講義Ⅰ 子ども虐待とメンタルヘルス問題</p> <p>子ども虐待の発生要因，とりわけ親のメンタルヘルス問題との関連性について，調査知見を紹介しながら具体的に学びます。メンタルヘルス問題の捉え方，精神科医療機関との連携ポイント，要保護児童対策地域協議会の機能，先駆的な支援活動例についても紹介します。（担当：松宮透高准教授）</p>
	<p>② 講義Ⅱ 子ども虐待と貧困・生活問題</p> <p>貧困と孤立は，子育て世帯を追い詰める最も重要な要因です。世帯の経済的問題を子育て環境として捉え直し，子どもの育ちや親の育児行動に及ぼす影響を整理します。その上で，安心して子育てができる生活環境整備に向けた課題についてまとめます。（担当：田中聡子教授）</p>
	<p>③ 演習Ⅰ 現場の苦労を「見える化」しよう</p> <p>参加される皆様の現場での苦労や悩みを率直に話し合い，その苦労が生じる要因について一緒に考えてみましょう。カードや図にして遠くから眺め直すことで，その苦労の構造が明確に見えてくるはずです。その体験は，自分や誰かの問題としてではなく，システムとしての課題と対応のポイントを明らかにしてくれることでしょう。</p>
	<p>④ 演習Ⅱ 事例検討と対応技法演習</p> <p>模擬事例をもとに，多様な支援機関や専門職がどのように情報を共有し議論を通して対策を明らかにしていけばよいのかを，体験的に学びます。チームとのかかわり方，当事者へのかかわり方を具体的に検討し，ロールプレイで実際に体験してみましょう。</p>
	<p>備考</p> <p>昼休憩を含みますので，昼食等は各自でご準備ください。</p>

----- 切り取り線 -----

公開講座「子ども虐待の発生要因とその対処プログラム」申込書

名前（ふりがな）	
受講案内送付先	〒
電 話 (緊急時も連絡が取れる番号)	() - 日中の連絡先：
E-mail	所属先： 個 人：
所属先及び職種	
修了証交付	交付希望 ・ 不要